

自然エネルギー信州パートナーズ の取り組む事業紹介



「熱供給サービス事業」



エーテオー株式会社 ウッドボイラー



カラマツストーブ普及責任共同組合

カラマツストーブ

「太陽光発電事業(支援型)」

2015年春
完成予定

みんなでつくる /
「田舎エネルギー」始まります

信州 鬼無里 ソーラー発電所

それは、みんなでつくる
地域共同発電所です。

鬼無里の太陽は、長野市鬼無里地区、松原神社の目のあたりにある豊かな土地です。空いた農地に埋め立てられない土地を再活用し、地域の力を活かして太陽光発電所を建設します。夏は草刈り、冬は雪かきを地域の仕事にして20年間維持管理します。

鬼無里は「エネルギーをつくる里」
になります!

長野市の北西部にある鬼無里は、2005年の市町村合併で長野市になりましたが、そもそもは古くからの伝統文化が息づくひとつの「村」でした。昔は森の資源と林業が盛んで、経済的にもたいへん豊かでしたが、近年は高齢化・過疎化の影響で、里山の荒廃が進んでいます。コンビニもなく、信号もひとつしかない鬼無里ですが、そんな小さな地域だからこそエネルギーと経済が地元でまわる小さな暮らしづくりが可能だと思います。鬼無里は、原子力や化石燃料に頼らない「田舎エネルギー」への転換で市町村合併前の「自治の力」を取りもどし、社会に役立ちたいと考えています。

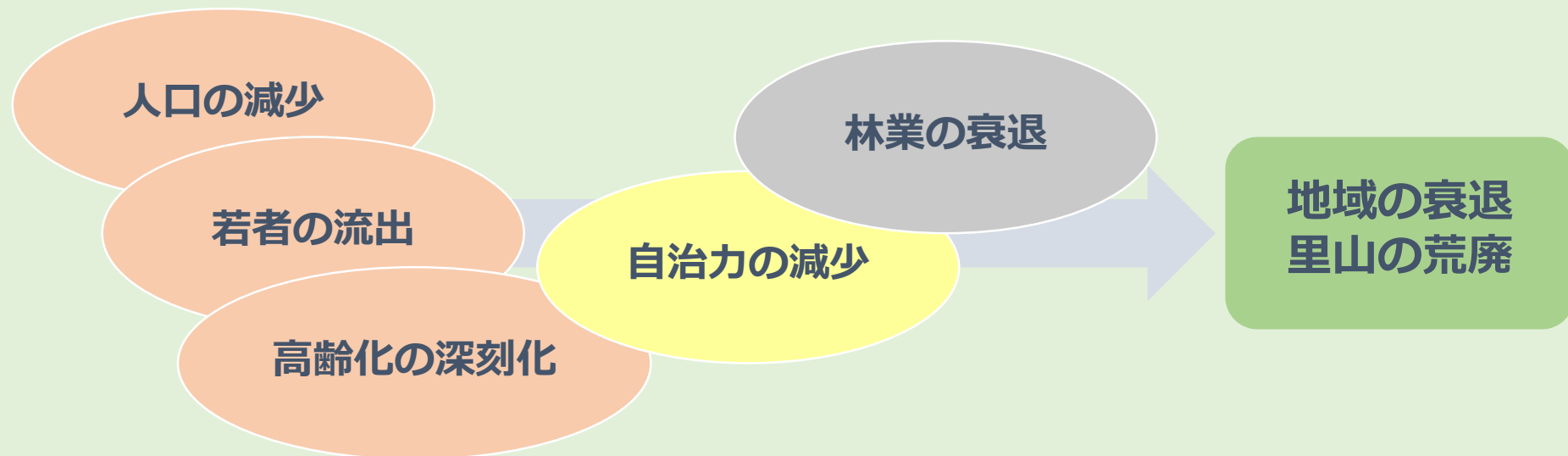
設備 概要	太陽電池 パワーコンディショナー 経費概算	約50kW 5.5kW/9台 約1,800万円
----------	-----------------------------	-------------------------------

みんなでつくる鬼無里
「田舎エネルギー」のプロセスを
Webで公開しています。

応援、よろしくお願います。
<http://ene-partners.jp>



■ 鬼無里の現状と課題



「荒廃した里山を、昔の美しい姿に戻したい。
自治を取り戻し、この地域を持続可能にしたい。」

NPO法人

まめってえ^{き な さ}鬼無里

信州鬼無里の元気を耕す



■ まめってえ鬼無里の試み①

- ・ オーストリアに鬼無里によく似た里山の村があり、地域起こしに成功しているとの情報を得て、交流をはかりました。



鬼無里



オーストリア ヴェルフェンヴェング村

■ 学んだこと

- ・ 地域にあるものを大切にし、資源として活用している。
- ・ 省エネや自然エネを活用し、地産地消を実現している。
- ・ 環境と観光を結び付け、たくさんの交流人口を獲得している。

■ まめってえ鬼無里の試み②

- ・ 鬼無里に住む人々のおよそ半分の家庭に訪問し、対話をしながら
家庭のエネルギーについて調査を行いました。

■ 調査からわかったこと

- ・ 冬場の寒さを乗り切るために、多くの化石燃料を消費している。
- ・ 鬼無里地区の灯油代は、年間8000万円にのぼる。



化石燃料を1割でも、自然エネルギーに切り替えることができれば・・・

■ 自然エネルギーの可能性

- ・ 地域にお金が循環する仕組みが作れるのでは？ → 地域の雇用
- ・ 林業の活性化に貢献できるのでは？ → 里山の保全

■ 自然エネルギーを利用した仕事づくり vol.1

里山の再生を目指す、薪作りと利用の拡大



「間伐や支障木の伐採」
里山の保全に貢献



「薪ステーション」
薪作りで、地域の雇用を創出



「薪ボイラー、カラマツストーブ」
薪の利用先を拡大

NPO法人
まめってえ鬼無里

信州鬼無里の元気を耕す



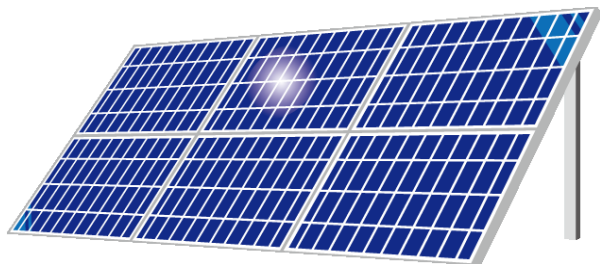
PARTNERS

(一社) 自然エネルギー信州パートナーズ

■自然エネルギーを利用した仕事づくり vol.2

自治のシンボルとしての太陽光発電所の建設

2015年春に着工予定



「太陽光発電を建設」
自治のシンボルとして役割

NPO法人 まめってえ鬼無里

信州鬼無里の元気を耕す



PARTNERS

(一社) 自然エネルギー信州パートナーズ
信州パートナーズアセット株式会社

鬼無里太陽光発電計画

発電規模	50kW
年間予想発電量	50,000kWh
鬼無里地区の50世帯分の電力に相当	
総事業費	1,800万円
資金調達	市民出資 (おひさまファンド)

鬼無里に維持・管理業務を委託



草刈り



雪かき

「太陽光のメンテナンス」
地域の雇用創出の一助に

信濃の国おひさまファンド 現在募集中

募集型投資信託
おひさまエネルギーファンド株式会社

飯田・松本・鬼無里へ！
みんなで創る地域エネルギー

信濃の国 おひさま ファンド

出資者募集のご案内



鬼無里 太陽光発電事業への再投資(国名組合出資)
松本 太陽光発電事業の再投資(国名組合出資)
飯田 太陽光発電事業の再投資(国名組合出資)

募集期間 **2014年11月7日～2015年2月28日**

目標年間利回り A号国名組合(10年) **2.0%**
B号国名組合(20年) **2.5% + プレミアム** (裏面を
ごらんください)

本資料は、募集型投資信託に関する国名組合の募集要約書(募集要約書)と併せてお送りいたします。本資料は、国名組合の募集要約書(募集要約書)と併せてお送りいたします。本資料は、国名組合の募集要約書(募集要約書)と併せてお送りいたします。

資料請求に関するお問い合わせはこちらから

おひさまエネルギーファンド株式会社 TEL 0265-56-3710
(受付時間: 平日をのぞく月～金の8時～17時30分)
第二種金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1927号 FAX 0265-56-3712
〒395-0027 長野県飯田市馬場町3-411 URL <http://www.ohisama-fund.jp/>

2015年春
完成予定

／ みんなでつくる ／
「田舎エネルギー」始まります

信州 鬼無里 ソーラー発電所



それは、みんなでつくる
地域共同発電所です。

鬼無里の田舎には、長野県鬼無里町、松原神社そばの日当たりのよいならかならぬほど、太陽の恵みを受けている土地を再活用し、地域の力を活かして太陽光発電所を建設します。
夏は草刈り、冬は雪かきを地域の仕事にして20年間維持管理します。

**鬼無里は「エネルギーをつくる里」
になります！**

長野市の北西部にある鬼無里は、2005年の市町村合併で長野市になりましたが、そもそもは古くからの伝統文化が息づくひとつの「村」でした。
昔は麻の栽培と林業が盛んで、経済的にもたいへん豊かでしたが、近年は高齢化・過疎化の影響で、里山の荒廃が進んでいます。
コンビニもなく、信号もひとつしかない鬼無里ですが、そんな小さな地域だからこそエネルギーと経済が地元でまわる小さな暮らしづくりが可能だと思えます。
鬼無里は、原子力や化石燃料に頼らない「田舎エネルギー」への転換で市町村合併前の「自治の力」を取りもどし、社会に役立ちたいと考えています。

設備 概要	太陽電池 パワーコンディショナー 経費概算	約50kW 3.5kW×9台 約1,800万円
----------	-----------------------------	-------------------------------

**みんなでつくる鬼無里
「田舎エネルギー」のプロセスを
Webで公開しています。**

／ 応援、よろしく願います。／
<http://ene-partners.jp>

